

園長だより NO103

おおぞら保育園ってどんな場所

いきいきと生活できる場所に

子どもの今を大切にできる場所

子どもが子どもらしくいられる時期はそう長くはありません。

好きなことをとことんやれる 「やりたいな」「やってみたいな」

と思うことがあれば、「どうぞ おやりなさい」と 快く受け止めてあげる

そんな 雰囲気がある場所をつくりたいと日々、生活しています。

ここが違うよ！ ①

お稽古、お習い事のようなことはやっていません。

英会話、文字指導、記憶力向上のプログラム・・・など

また、一般的な行事 運動会、発表会も 大人が教え込む事は

推奨していません。 成果主義 評価は2の次 3の次

成果、評価よりも 子ども達が日々、いきいきと主体的に活動に

取り組んでいくことが最優先、ですから行事の内容も大人の都合

(考えたもの)をただ一方的に教え込んでいくものはありません。

大人が決めたことを「ただ 頑張らせる。」なんて言語道断！

ただ、そんな保育をしているところは数多くあります。

大切にしたいのは子どもの主体性であって 昔からの慣例で行われてきた

保育(管理し子どもの主体性を削いでいる保育)の概念を崩していくこと

子どもの大切な可能性を奪ってしまうことは避けたい

子どものペースで それぞれの違いを認めながら

徐々に仲間とのやりとり(協力や協働)を次第に

生活の中で定着させていきます。

まずは ひとり、ひとりの安定から それぞれ、

育った環境、背景はことなります。

食事、睡眠、排泄、入園前はそれぞれ自分のリズム、ペースをわかって

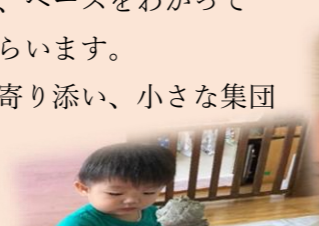
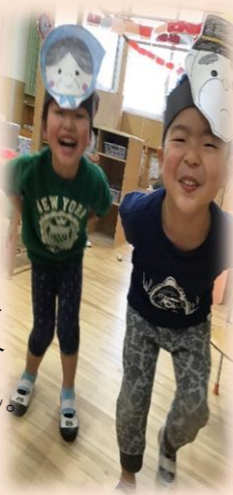
くれる大人(お母さん、お父さん)に育児をしてもらいます。

保育園では できるだけ、それぞれの環境、背景に寄り添い、小さな集団

の生活をその子のペースで過ごしていきます。

※今回の便りはNo.84 (2023.4.発行)

を加筆、修正したものです。



ここが違うよ②

幼児教育界の音楽教育はめちゃくちゃ

楽器の指導あり、歌唱指導あり、 アンサンブル

リトミック、等々 なんでも、まぜこぜで教えている。

何が育つのでしょうか？

鼓笛隊、マーチングなどやっているところは？

何を育てたいのでしょうか？ 音楽性？ 規律？

はたまた根性？ 大人の考えた内容を教えられ

身につけやらされ 何が育つのでしょうか？

※指導者の質によっては活性化され楽しく取り組まれることもある

おおぞら保育園は以前、なんでもありでした。

一斉の指導(ピアノカ)はやめました。

合奏することも やめました。

心の安定、穏やかに遊びながら楽しめる。

歌うことも、リズム(拍)をとることも

遊びながら(遊戯性)学べること

わらべうたを 音楽(情操)の中心としました。

特に乳児は、心地よい語りかけと、心地よく耳から入る

歌声、肌と肌(スキンシップ)心地よさを五感をつかい

体感していきます。

仮にCDなどの音源を流し、聞かせっぱなしであれば

心地良さは半減 それ以下になります。

特に乳児は刺激の強いものは避けたいものです。

やりたいこと やってみたいと思うことが実現する。

一見、やりたいことだけやっている子は自分勝手と思うことでしょう

でも、やりたいことがある子は 自分をしっかり持っている子です

だから、大人はできるだけ 取り組ませてあげたいと思い

とことんできる 時間、空間、仲間(同じ方向)を作り、結び付け

てあげられるよう努めています。



※彫塑用の粘土 美術家の塑像や石膏の型などに用いられている粘土

左2カットは1歳児 右上は5歳児 止めどなく発想が湧き出てきます。

ここが違うよ③

まだまだ試行錯誤ですが 表現分野の概念を崩しています。

今までは絵を描くことは 大人の考えで「〇〇を描きます」と

大人の課題設定で取り組ませていた。

月々の製作などもあり 折り紙を折らせ、画用紙に貼り付ける

12月になれば サンタクロースの顔をパーツごとに貼り付ける

大人が考えた内容、構成を子どもがやる。本当に子どもたち

は楽しいだろうか？ 楽しいけど 楽しさの質は違う

素材に触れる。子ども達はその感性で素材と対峙する。

あれはどうだ？ これはどうだ？と取り組みの中で子どもなりに

思考する。そこには 大人の評価(上手にできたね)は ない

そもそも 子どもの表現(絵を描いたり、空き箱で作ったり、

粘土)など 子どもがやることに外部から上手だとかの評価は

存在しなくていい。

当の子ども(子ども達)が満足していれば

子どもの中では「うまく いった」のである。

汚れます、汚します。

どろんこ遊びが始まれば 毎日、泥だらけです

子どもは遊ぶのが仕事 汚すのも仕事のうち

「うーん？ どろんこは」と消極的になる気持ちを抱く方は

入園を慎重にご検討ください。

絵の具遊びにしても いつどこで始まるかもしれない

「さあ、お着がえして 絵の具であそびましょう」とは

いきません。 衣服も絵具だらけの日もあります。

高級なおしゃれなお洋服はご遠慮ください。

毎日着てくるお洋服はシンプルなもの 大人なら作業服

というものです。とことん汚れてよい洋服をご用意下さい。

この時期から保育園の見学者が多く来園します。どんな活動をして

いますか？ グループワークはありますか？ 知育的な習い事はあり

ますか？などの質問を受けることがあります。

「よく遊び、よく学べ」と言うことが古くから語り継がれていますが

私の解釈は「よく遊ぶと良く学べる」または「多くの学びがある」

と思っています。乳幼児期の子ども達は生活や遊びの中で旺盛に学ん

でいくものです。保育は子どもの興味、関心、発達をわかり、ひとり

、ひとりの気持ちにそい、仲間とのかかわりや環境を作って

あげなくてはなりません。一日の大半を遊びについやすことが

学びにつながり、成長していくのです (園長 廣部信隆)

